

SFC 研究所所長 殿

## SFC 研究所ラボラトリ年次活動計画書

ラボ名称	SIVアントレプレナー・ラボ					
ラボ代表者	氏名	國領二郎	所属・職名	総合政策学部 教授		
ラボ設置期間	2005	年	4	月	1 日 ~ 2008 年 3 月 31 日まで	3年間
計画対象期間	2007	年	4	月	1 日 ~ 2008 年 3 月 31 日まで	3年目

**研究活動計画** (設置申請書, 継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。)

**概要**

SIV アントレプレナー・ラボラトリ(SIV ラボ)の全体の研究期間は、2005 年 4 月~2008 年 3 月である。SIV ラボ 2007 (2007 年 4 月~2008 年 3 月)においては、SIV ラボの既存のリソースを前提としながら、インキュベーションをグローバル水準に高めていくために、「SIV インキュベーション加速化パッケージ」を導入、その実現を目指す。

**今年度の課題**

SIV ラボはいよいよエコシステムの創成も終わり、基本的な基盤が整った。ディールフロー(案件)も年間 100 件を超えて、実践フェーズへの移行が完了した。しかしながら、実践フェーズに移行したといっても、案件や支援の質は、グローバル水準に照らし合わせると、まだまだ不十分である。

今後水準を上げていく努力をする必要がある。その具体的な方策については下記に記す。

**活動の 5 本柱**

第一の柱は、「グローバルコンテストの実現」である。2008 年の慶應義塾 150 年に世界中の各大学のビジネスプランコンテストのグローバル大会を開催する。このプロセスを通じて、塾内外のインキュベーションネットワークを強化し、またその質をグローバル水準に高める。その他各地域の三田会との連携による冠アワードの設立など、慶應義塾を介した日本全体のインキュベーションの活性化を図っていく。

第二の柱は、「シリコンバレーオフィスの開設」である。SIV ラボのインキュベーション水準を高めていくためには、世界の最先端であるシリコンバレーとの連携、知識の移転などを図っていく必要がある。

第三の柱は、「アントレプレナー投資教育」である。SIV ラボの課題の一つに資金支援の欠如がある。慶應義塾への寄付を募ることにより、その寄付を財源としたベンチャー投資、更にはその評価をケーススタディとして、学生対象の投資教育を行う場を実現したい。

第四の柱は、「団塊の世代の活用とエンジニアの放課後クラブの設立」である。2007 年問題により、ここ数年間で大量の退職者が発生するが、彼らのパワーをインキュベーションコミュニティに巻き込んでいく。この中でも特にエンジニア経験者が、若い学生と協働し、新しい技術的なチャレンジを行う環境を作りたい。

第五の柱は、「グローバル水準の IM の雇用」である。インキュベーションにおいて極めて重要なのは、支援者の質である。良い支援者が集まれば、必ず良い案件が集まってくる。そのためにも、シリコンバレー等でのビジネス経験を持つ方を SIV コミュニティにお迎えして、インキュベーションを推進したい。

研究予算計画 ※ 収入（研究種目（委託、コンソ等））、支出、繰越金額などの予定を記載してください。

【収入計画】

研究種目	契約予定件数	予定研究費総額	備考
受託研究	件	円	
コンソーシアム	25 件	8,900,000 円	
ラボ会費	件	円	
指定寄付金	1 件	4,000,000 円	DNP 寄附講座含む
補助金	1 件	8,000,000 円	
前年度繰越金	件	6,728,350 円	
合計	27 件	27,628,350 円	

（注：DNP 寄附金は寄附講座を対象としたものであるが、SIV のベンチャー支援活動と連携した授業サポートを行うためこの計画に含めるものとする。）

【支出計画】

費目	金額	備考
人件費（謝金、時間給与、月払給与等）	16,000,000 円	
機器備品	500,000 円	
消耗品	500,000 円	
出張費	1,500,000 円	
委託費	2,850,000 円	
事務所賃貸料	3,600,000 円	
その他	2,678,350 円	
合計	27,628,350 円	

【合計】

	金額	備考
収入予定	27,628,350 円	
支出予定	27,628,350 円	
合計	0 円	

【収入計画内訳】

委託元企業名等	研究テーマ名	研究費（円）

## 構成メンバー

昨年度（2006年度）のものを記す。今年度も原則継続する。

代表： 國領 二郎（総合政策学部教授/SFC 研究所長）

副代表： 村井 純（常任理事/環境情報学部教授）

事務局長： 牧 兼充（政策・メディア研究科助教）

### ●SIV 推進委員会

小島 朋之（総合政策学部長）

富田 勝（環境情報学部長）

徳田 英幸（政策・メディア研究科委員長）

吉野 肇一（看護医療学部教授）

熊坂 賢次（環境情報学部教授）

小檜山 賢二（政策・メディア研究科教授）

花田 光世（総合政策学部教授）

中村 洋（経営管理研究科教授）

岡田 正大（経営管理研究科准教授）

飯盛 義徳（環境情報学部専任講師）

### ●SIV 運営委員会

牧 兼充（政策・メディア研究科助教 / 事務局長）

鈴木 明（SIV リサーチ株式会社代表取締役村長 / メンター三田会幹事）

森 靖孝（SIV リサーチ株式会社代表取締役助役 / メンター三田会会長代行）

田中 克徳（政策・メディア研究科准教授 / 三菱地所）

樺澤 哲（政策・メディア研究科教授 / 松下電器）

浜本 幸一（SIV リサーチ株式会社取締役 / メンター三田会事務局長代行）

### ●会員企業

・マイクロソフト株式会社・スルガ銀行・フィグラ株式会社・財団法人台日経済貿易発展基金會・三井物産株式会社・伊藤忠テクノソリューションズ株式会社・あずさ監査法人・エヌ・アイ・エフ SMBC ベンチャーズ株式会社・松下電器産業株式会社・トラボックス株式会社・三菱商事株式会社・三菱地所株式会社（丸の内フロンティア事務局）・メキキ・クリエイツ株式会社・監査法人トーマツ・新日本監査法人・太陽国際特許事務所・三浦藤沢信用金庫・大東印刷工芸株式会社・ネットエイジキャピタルパートナーズ株式会社・株式会社ビットアイル・三菱東京 UFJ 銀行・21LADY 株式会社・株式会社タイキ・株式会社三技協・株式会社 eco-s corporation・ハルデザインコンサルティング株式会社・株式会社ケイビーエムジェイ・有限会社 綴・独立行政法人中小企業基盤整備機構・神奈川県・藤沢市・財団法人藤沢市産業振興財団・NPO 法人ベンチャーサポート研究会・SFC 三田会・株式会社 MM インキュベーションパートナーズ